

## 第 46 回北信越国民スポーツ大会 スポーツクライミング競技 実施要領

第 46 回北信越国民スポーツ大会スポーツクライミング競技は、公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会「国民スポーツ大会スポーツクライミング競技規則集（令和 7 年 3 月改訂）」により行う。ただし、同規則によらない事項及び第 46 回北信越国民スポーツ大会スポーツクライミング競技においてのみ実施する事項は本要領による。なお、この要領に記載されていないことなど、その他疑義が生じた場合は、競技委員長（開催県岳連理事長）と競技副委員長（各県岳連理事長）が協議して決定する。

※理事長が大会に参加できない場合は、理事長以外の役員が競技副委員長を務めることができる。その場合は各県の役員申込時に競技副委員長を明記する。

### 1 全種目共通事項

- (1) 種別の競技順は、少年女子、成年女子、成年男子とする。
- (2) 監督は選手と共にアイソレーション・ゾーンから待機場所、コール・ゾーンへ移動する。
- (3) 競技時間中の監督エリアを設ける。
- (4) 成績発表は、競技会場の入口または指定の場所に掲示する。  
(※成績速報や公式成績を掲載する JMSCA の Web 上の公式掲示板も活用予定)
- (5) 「国民スポーツ大会スポーツクライミング競技国スポブロック大会における本大会出場チーム決定方法に関する規定」の別紙「本大会出場チーム選出方法について（解説）」において示されている本大会出場チーム決定方法に関して 3.2.(4)（本規定第 7 条第 1 項第 5 号）まで適用してもなお出場チームが決定できない場合、本規定第 8 条 2 項を適用しボルダアの「タイブレイク・ラウンド」によって本大会出場チームを決定する。
- (6) 競技終了後、選手・監督は指定場所で待機し、審判の指示により解散する。

### 2 リード競技（L）

- (1) 競技会場は次のとおりとする。  
桜ヶ池クライミングセンター  
富山県南砺市立野原東 1511（TEL 0763-62-8123）
- (2) 競技会場への立ち入りができる日時は、7 月 22 日（火）の営業終了時刻までとする。
- (3) アイソレーション・ゾーンは、競技会場の指定されたエリアとする。

- (4) アイソレーションのオープンは全種別 **11 時 30 分**からとし、クローズは 12 時 30 分とする。
- (5) チーム内の競技順はナンバーカードの選手番号の昇順（1 → 2 の順）とする。
- (6) オブザベーションは、少年女子と成年女子は同時に行い、成年男子は少年女子と成年女子の競技終了後に行う。時間は 6 分とする。なお、オブザベーションの用紙（無地）とバインダーは、開催県が準備する（筆記用具は各自準備すること）。
- (7) リード競技の 1 人あたりのアテンプト・ピリオドは 40 秒の準備時間と、6 分の最大競技時間で構成される。
- (8) ロープは、開催県が準備する。

### 3 ボルダー競技（B）

- (1) 競技会場は次のとおりとする。
  - ボルダリングジム レトラス
  - 富山県富山市上大久保 1666-1（TEL 076-461-4216）
- (2) 競技会場への立ち入り出来る日時は、7 月 24 日（木）の営業終了時刻までとする。
- (3) アイソレーション・ゾーンは、競技会場の指定されたエリアとする。
- (4) アイソレーションのオープンとクローズの時間は以下のとおりとする。
  - 少年女子のオープンは 8 時、クローズは **8 時 30 分**とする。
  - 成年女子のオープンは 10 時、クローズは **10 時 30 分**とする。
  - 成年男子のオープンは 12 時、クローズは **12 時 30 分**とする。
- (5) オブザベーションは種別ごとに行い、時間はボルダー 2 基（4 課題）同時で 8 分とする。なお、オブザベーションの用紙（無地）とバインダーは開催県が準備する（筆記用具は各自準備すること）。
- (6) ボルダー 1 基（2 課題）のアテンプト・ピリオドは、15 秒の準備時間と 5 分の最大競技時間で構成されるものとする。ボルダー 1 基目と 2 基目の間にアテンプト・ピリオドと等しい休憩時間を設定する。
- (7) ホールドのクリーニングは選手が行う。使用するブラシは大会運営側が用意したものに限定する。